

レジメンcode:	C35-55	備考
適応がん種:	非小細胞肺癌	
レジメン名:	Nivolumab+PEM+CBDCA(術前薬物療法)	
間隔:	3週間	

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	オブジーボ	360	mg/body	点滴(30分)	d1
PEM	ペメトレキセド(アリムタ)	500	mg/m ²	点滴(10分)	d1
CBDCA	カルボプラチン(パラプラチン)	5~6	AUC	点滴(1時間)	d1

*最大3サイクル投与。

ペメトレキセド(アリムタ)初回投与の1週間以上前~ペメトレキセド(アリムタ)最終投与日から22日目まで連日投与

1) パンビタン	1 g/day
内服	朝食後

ペメトレキセド(アリムタ)1週間以上前~ペメトレキセド(アリムタ)最終投与日から22日目まで9週ごとに1回

1) シアノコバラミン	1000 μg	1 A
筋注		

day1【ケモセーフ使用】

1) 生食	50ml	1 本	ルート確保	
2) オブジーボ		360 mg/body		
生食	100ml	1 本		
	主管①	点滴	30分	インラインフィルター必須
3) 生食	50ml	1 本		
	主管②	点滴	15分	フラッシュ用
4) アロカリス	235mg	1 V		
パロノセトロン	0.75mg	1 V		
デキサート	3.3mg	1.5 A		
生食	50ml	1 本		
	主管③	点滴	30分	
5) ペメトレキセド(アリムタ)		500 mg/m ²	【ケモセーフ使用】	
生食	100ml	1 本		
	主管④	点滴	10分	
6) カルボプラチン(パラプラチン)		5～6 AUC	【ケモセーフ使用】	
生食	250ml	1 袋		
	主管⑤	点滴	1時間	
7) 生食	50ml	1 本	フラッシュ	

〈所要時間 約3時間〉

【文献】

国際共同第Ⅲ相試験【ONO-4538-55/CheckMate816試験 N Engl J Med 2022;386:1973-1985 (PMID:35403841)】

【適応】

*非小細胞肺癌における術前補助療法

(対象患者: StageⅡ～ⅢB(第9版)、EGFR遺伝子変異/ALK融合遺伝子陰性もしくは不明例)

*PD-L1発現の有無は問わない。

*甲状腺機能障害、下垂体機能障害及び副腎障害があらわれる事があるため、投与開始前及び投与期間中は定期的に
内分泌機能検査を実施すること。

◎検査セット登録あり: 場所 カルテ→(検体)→(特殊セット)→(免疫チェックポイント初回)(免疫チェックポイント2回目～)

*インラインフィルター(0.2又は0.22 μ m)を使用する。(オプジーボ)

*投与時の総液量は体重30kg未満の患者には100mL以下とする。

*有害事象(肺、肝、内分泌障害、皮膚、胃腸、腎、神経関連)対処アルゴリズムを参照する。